静岡市
幼保小架け橋だより

つなぐ

第１号　令和８年９月７日
発行　幼児教育・保育支援課
学校教育課

静岡市では、今年度より円滑な幼保小接続の推進に向けた取組を市全体で進めていくこととなりました。４月に市内すべての就学前施設と市立の小中学校に「幼保小接続ガイドライン」を冊子で配布いたしました。市内どの地域でも格差なく、すべての子どもたちの育ちと学びが円滑につながっていくことを願い、その方向性を示しています。

１２月には、今まで継続して行われてきた「子どもの育ちと学びをつなぐ研修会」が初めて小学校の悉皆研修となり就学前施設の職員と小学校の職員が一堂に会した合同研修会が行われます。ともに子どもの姿を語り合う対話を重ねることで、子どもに関わるすべての大人が協働し教育・保育の充実を図っていくことを目的に実施する予定です。

この「静岡市幼保小架け橋だより　つなぐ」では、幼保小の円滑な接続に関する情報や、各園・学校が行っている実践を発信していきます。ぜひご一読ください。

「架け橋期」って何のこと？



文部科学省では、0歳から 18 歳の連続する子どもの学びの中で、5歳児（年長）から1年生の2年間を、生涯にわたる学びや生活の基盤を育成する重要な時期として「架け橋期」と位置づけました。

【架け橋期のカリキュラム】
幼保小の先生が、共通の視点をもちながら、相互の教育内容や教育方法の充実を図るために**協働して作成するカリキュラム**

１２月 １５日（火）「子どもの育ちと学びをつなぐ研修会」



架け橋期の期間については、幼児教育と小学校教育の教育課程の構成原理や指導方法等に様々な違いがあるため、幼保小の教職員が相互理解を図って円滑な接続を実現し、それぞれの教育を充実するためには、数か月程度の短い期間では不十分であることから、2年間という期間が設けられています。

知っていますか？「架け橋プログラム」

「架け橋期」（5歳児から小学校１年生までの2年間）の教育の充実を図るため、幼保小の先生はもとより、保護者や地域住民等の子供に関わる大人が立場の違いを越えて自分事として連携・協働し、子供一人一人の多様性に配慮した上で、全ての子供に学びや生活の基盤を育むことを目指す取組です。

文部科学省では、令和4年度から3か年程度を念頭に、全国的な架け橋期の教育の充実とともに、モデル地域における実践を並行して集中的に推進していくこととしています。

文部科学省「幼児教育と小学校教育がつながるってどういうこと？」より

参照　文部科学省 HP
「幼保小の架け橋
プログラム」



静岡市の進め方や方向性は、令和8年4月に配布した「幼保小接続ガイドライン」に記載されています。ぜひご覧ください。
今後は、「静岡市幼児教育センター」の HP や chromebook の「幼保小接続ホームルーム」にも順次公開していく予定です。

素敵な実践紹介します！「静岡聖母幼稚園・葵小」



7月21日（火）静岡聖母幼稚園と葵小の「夏季幼小接続研修」が行われました。以前より継続している研修ですが、今年度は静岡市の取組を受け、中学校区の園にも声をかけ、近隣園3園が参加しての研修となりました。各園の紹介や小学校のスタートカリキュラムの取組について共有したあと、指導主事から幼小接続の意義等について話を聞き、幼保小の円滑な接続について学び合いました。







全体での共有が終わったあとはグループにわかれて協議を行いました。静岡聖母幼稚園5歳児事例の子どもの姿から「どんな力が育っているのか」「小学校のどんな学びにつながっていくのか」を語り合いまとめました。時間がたっぷりとあったおかげで、語り合いは充実したものになりました。事例の話から語り合いは発展し、「園では〇〇の時、どんな思いでどんな援助をしているんですか？」「園でこの経験をしているなら学校では〇〇ができるかも！」「小学校でも〇〇したいのだけど・・・」「園では～ですが、学校ではこういう時どうするんですか？」など互いの教育・保育について共通点や違いを理解し、大切にしていきたいことを確認する貴重な時間となりました。

静岡聖母幼稚園と葵小学校の「幼小接続研修」は、小学校が夏休みに入った7月下旬頃に行っています。この時期を活用することで、校長先生をはじめ、1年生担任に限らず多くの職員の参加が実現されています。「架け橋期のカリキュラム」を作成することが「幼保小の接続」の目的ではありません。今回のように、園と学校の教職員が子どもの姿を語り合い、互いの教育について理解することで、自園・自校の教育が充実していくことがとても大切です。





「幼保小の架け橋プログラム実施の手引き」でも大切にしていきたい視点として、「施設類型・設置者・学校種を越えて、幼保小の先生が気軽に話し合える関係を構築し、対話を大切にするとともに・・・」と書かれています。まずは、顔の見える関係づくりが円滑な接続の第一歩ですね！

お願い

静岡市の「幼保小接続」の円滑な接続に向けて、幼児教育・保育支援課、学校教育課で各地域の相談や実践の紹介を発信し共有していきたいと考えています。ぜひご連絡ください。

●地域や園・学校で「幼保小接続」の理解を深めたい。研修をしたい。 ●幼保小接続に関する計画がある　など

下記記連絡先または、右の二次元コード等よりご入力ください。 https://logoform.jp/form/79j2/1545030

【連絡先】 幼児教育・保育支援課 221-1018（担当：山下） 学校教育課 354-2519（担当：小杉）